

令和元年度「平泉古事の森」育成事業を実施しました。

10年目を迎えた本事業は、次代を担う子供たちに、奥州平泉の文化遺産と木材の関係やふるさとの森林を支えるという意識の醸成を図るため、古事の森周辺の平泉町立平泉小学校4年生、長島小学校5年生、奥州市立衣川小学校と衣里小学校の4年生の児童に対して、9月25日～27日に「事前学習」を、10月4日に平泉町立平泉小学校体育館において、丸太切りや「木の実」・「木の葉」・「木の香」の森林教室での体験を通して、ふるさとの森林を学ぶ取組を協議会と署が連携して行ないました。

当初、協定している奥州市衣川月山国有林16林班において、青森ヒバ300本の記念植樹を予定していましたが、台風から変化した温帯低気圧の直撃のため急遽、開催以来2回目となる屋内での育成事業となり、平泉小学校体育館に集合した平泉小、長島小、衣里小、衣川小児童計95名は、時間いっぱい元気に楽しんでいました。

「平泉古事の森」は、歴史的木造建造物の修復に必要な大径材を育てる長期の森林づくりを通じて、地域の皆さんと日本の木の文化を支えていく活動の場として、平泉町、奥州市、森林組合、地域団体等で構成する「平泉古事の森育成協議会」が、当森林管理署が管理する月山国有林を活動フィールドとして協定し、毎年活動を実施しています。

記念植樹が中止となり残念でしたが、予定の苗は、当署職員が10月7日に植栽しました。

●令和元年9月25日・26日・27日

事前学習



●令和元年10月4日
森林教室



丸太切り



丸太切り



木の実教室



木の葉教室



木の香り教室



開会式



後日職員で植栽したヒバ